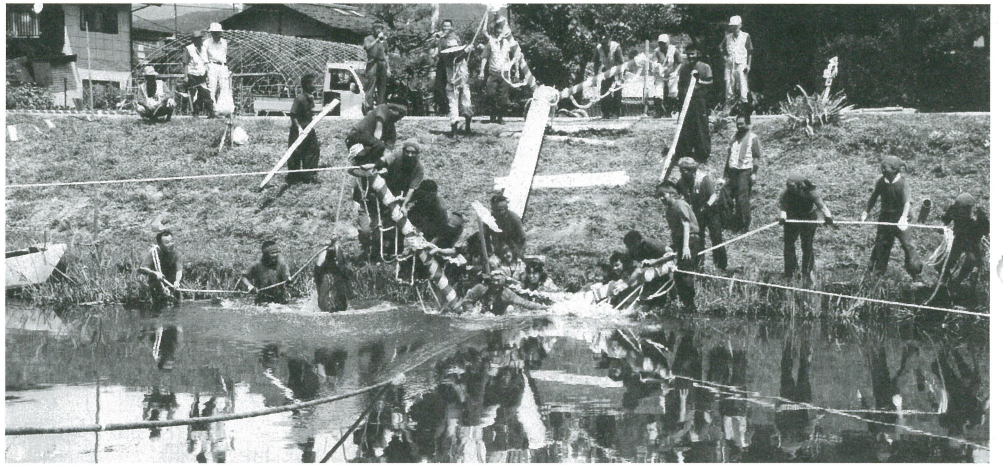


すわ 市議会だより

発行/諏訪市議会 編集/議会だより編集委員会 〒392-8511 長野県諏訪市高島1-22-30 TEL0266-52-4141

諏訪市ホームページ <http://www.city.suwa.lg.jp>



盛大に行われた小宮祭

9月定例会市議会、定例会日程	1P
決算審査特別委員会報告	2P
代表質問(2議員)	5、6P
議案審議結果、陳情、市議会解説コーナー、編集後記	12P
常任委員会報告	3、4P
一般質問(11議員)	7Pから

9月定例会市議会

平成22年第3回(9月)定例会が、8月27日から9月17日までの会期で行われました。

今定例会には、報告5件、同意1件、諮問2件、認定10件、議案5件が提出され、すべて同意・認定・可決されました。

<定例会日程>

8月	27日	本会議(議案上程・説明、陳情付託)
	31日	本会議(議案質疑・付託)
9月	2日	本会議(代表質問・一般質問)
	6日	本会議(一般質問)
8日~10日		特別委員会(委員会審査)
	10日	本会議(議案上程・質疑・付託)
	14日	常任委員会(委員会審査)
	17日	本会議(委員長報告・質疑・討論・採決)

世界経済は「百年に一度」と言われた経済危機で、一部の新興国の経済活動の活発化により一定の持ち直しが見られるが、我が国の経済は深刻化が進んでいる。政権交代により国民の審判を反映し一定の前進はあったものの国民の期待ははずれませんでした。国は経済回復を重点課題として進めることを望んでいます。

二十一年度一般会計では歳入予算額が八億三千万円の減額となり、特に法人市民税が前年度に比べ四五・二%と大幅に減収となっています。

一般会計審査の中の主な点では①不用額が予算の五%、十億円を超えた。予算のたて方の見直しを。②緊急経済対策（雇用、金融、福祉）では国の補助金も使い、いち早い対応ができた。③農林水産業関係の予算極端に少ない。鳥獣被害駆除対策不十分。④赤字が増大しているす

**決算審査
特別委員会人事**

平成22年度の決算審査特別委員会の人事が決まり、議長を除く全議員により、下記報告のとおり平成21年度決算認定審査が行われました。

委員長 守屋 陽子
副委員長 神澤 孝昌

つこうランドのあり方。⑤東洋バルヴ跡地、市の財産である跡地をどうするか決める時期にきている。⑥職員数は行政改革により激減。しかし資質の向上を求められている。正職員増と採用の平準化を。⑦かりんちゃん、統合バスの運営は委託先の企業への努力要請を。⑧高齢者、障害者の声をよく聞き、制度の活用を。⑨虐待、不登校児童への手厚い支援を。⑩清水学園への予算の増額。⑪三歳未満児の保育士を順次、正職員にすることは一歩前進。⑫公民館使用料を取ることで、グループ・団体活動がぶくぶくと懸念。身近な問題をとり上げて審査の内容を記しました。

一般会計反対討論では、不用額が十億円を超えた。改めて問いたい。工場立地、住基カード、辻と小径、憩いの杜、すわつこうランド、敬老祝品、災害見舞金、全く不十分である。賛成討論は、財政状況の厳しい中、少子高齢化社会に対応した福祉の充実、安心安全のまちづくりを中心に市民の視点にたった予算配分が執行された。反対一名賛成十二名で認定。

国民健康保険特別会計について反対討論は、国保の加入者が増えている。二年前二〇・四四%値上げ、高い保険料に反対。賛成討論では、た



決算審査特別委員会

び重なる改正で運営は苦しいが適切に処理されている。反対一名賛成十二名で認定。

霧ヶ峰リフト、奨学資金、公設地方卸売市場、下水道事業、駐車場事業、老人保健以上六特別会計及び水道温泉事業会計は全会一致で認定。後期高齢者医療特別会計は、反対・賛成の討論があり、反対一名、賛成十二名で認定となりました。

同意第2号

教育委員会委員の任命について、関 明美 氏の任命に同意しました。

諮問第3号

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めるについて、大宮 弘子 氏の推薦に同意しました。

諮問第2号

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めるについて、山田 哲郎 氏の推薦に同意しました。

議案審議

第3回（9月）定例会で付託された案件と、委員会審査の内容です。

条例案件等二件。下水道事業会計補正予算、一般会計補正予算可決。
陳情第五十五号、上諏訪駅西口に公園を整備する提案に関する陳情書 全会一致採択

当委員会に付託された議案は四件と陳情一件です。

◎諏訪市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について。

児童扶養手当法の一部を改正する法律が公布され、新たに父子家庭の父にも児童扶養手当が支給されることになったため、父子家庭における児童扶養手当と損害補償の子ども加算分の受給調整が行われ、「消防団員等である母に係る年金の損害補償を公的年金」及び「消防作業従事者等である母に係る年金の損害補償を労基法による遺族補償等」とみなす改正です。全会一致可決。

◎長野県地方税滞納整理機構の設置について。

市町村が賦課した地方税等滞納事業を、県と全ての市町村が組織する機構（広域連合）に移管して滞納整理を行うものです。県全体では年間千件、諏訪市は二十件の移管を予定します。地方税を自ら集めることは、自治体の基本中の基本の仕事、市民感情との関係でも自ら集めるべき。平成十九年以降の税源移譲により滞納が増えており、専門知識と時間が

必要な滞納整理には共同化が必要との討論があり、反対一、賛成五で可決です。

◎平成二十二年度諏訪市下水道事業会計補正予算（第一号）について。

飯島土地区画整理事業に係る単独公共下水道建設費として、三千万円の補正を行うものです。土地区画整理事業内の本管実施率は約八割となります。全会一致可決です。

◎平成二十二年度諏訪市一般会計補正予算（第四号）について。

歳入歳出に二億五千三百八十四万円を追加し、百九十三億五千三百九十九万八千円とするものです。財産管理費は、減債基金に六百万円を積み立てるもの。本年度の積立額の計は三億八千万円となります。庁舎管理費は、議会棟のタイル落下防止の為、タイルの上からサイディング張り工事とアスベストを含む一階軒天の除去工事です。賦課徴収費は、所得税確定申告データの地方団体への電子的送付（国税連携）の為の経費です。労務対策費は県の緊急雇用創出事業補助金で、諏訪市を会場の一つとして開かれる技能五輪の選手の

開拓へむけ一人を雇用するもの。商業振興費も同補助金で商工会議所のTMO事業で一人を雇用するもの。農業振興費は松茸山の防護ネット十ヶ所六千七百五十メートルの整備費用。農地費は蓼の海整備の追加工事の負担金。道路新設改良費は、市単道路改良として、小和田南、新川団地など五ヶ所を整備し、河川改良費は二河川の整備費です。建築指導費は耐震改修補助二軒分。非常備消防費は分団への安全帽、反射ベスト支給。防災費は、防災行政無線子局の移設費。全会一致可決。

◎陳情第五十五号「上諏訪駅西口に公園」を整備する提案に関する陳情書。
公園整備よりも駅利用者の利便性や安全確保を優先してほしいとするもの。諏訪市大手の小林幸子さんから提出されました。全会一致採択です。



蓼の海整備工事

社会文教委員会行政視察報告

- ◇日程 平成22年7月13日(火)から7月15日(木)
- ◇視察場所 北海道釧路市、北見市
- ◇視察内容 ・生活保護自立支援プログラムについて
・廃棄物処理について

総務産業委員会行政視察

- ◇日程 平成22年10月20日(水)から10月22日(金)の予定
- ◇視察場所 沖縄県宜野湾市、名護市、国頭郡本部町
- ◇視察内容 ・基地問題の現状等について
・観光振興について
・市場の現状について

諏訪南行政事務組合規則一部変更。

二十二年年度諏訪市一般会計補正予算。

〓全会一致可決
〓全会一致可決

◎諏訪南行政事務組合規約の一部変更について。

諏訪南行政事務組合が、灰溶融施設の設置、管理及び運営に関する事務を廃止したことにより規約の一部変更となった。諏訪市への影響はない。

◎平成二十二年年度諏訪市一般会計補正予算(第四号)

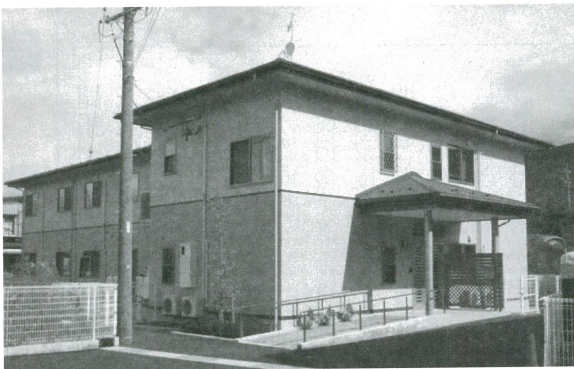
民生費社会福祉費の障害者福祉費は、身体障害者手帳の交付を受けている十八才以上の方で、生活保護受給者の四名が人工透析、心臓手術が発生し、全額公費負担で自立支援医療給付の対象となった。生活保護総務費は平成二十一年度セーフティネット支援対策事業額の確定により、補助金の国庫返納金。

介護保険関連事業費は、国の交付金を受け、社会福祉法人「こまくさ福祉会」が平成二十三年七月開設予定の特別老人ホーム仮称「ふくろうの森」八十九床への補助金。民間事業者が行う施設開設準備六ヶ月の経費を県が補助する事業で、医療法人こまくさ会による平成二十三年四月開設予定のサ

テライト型小規模介護老人保健施設二十九床、認知症高齢者グループホーム定員十八名。ニチイ学館が平成二十二年九月一日に開設の認知症高齢者グループホーム定員十八名の二事業者への助成。児童福祉費児童福祉総務費は、県の安心こども基金活用による、児童遊園の案内用看板作製経費と双葉ヶ丘、田宿、洪崎、田辺の老朽化の金具、危険遊具の撤去と新設遊具の設置等。保育所費は、十五保育園に書籍紙芝居、県産材の書架十五台の購入費。インフルエンザ対策の強化のために公立保育園十九台、私立保育園十二台の未満児保育室設置の空気清浄機の購入費。衛生費保健衛生費の予防費は、予防接種が原因で、予防接種健康被害者障害年金支給の二名のうち一名が、三級の認定から二級該当となり年金額が変更となった。衛生費環境保全費太陽光発電設置補助金は、当初予算五百万であったが、八月迄に五十六件の申請があり、現在も希望者があるので、補助限度額九万円の三十三件分の

補助額。

教育費小学校費の教育振興費は、湖南小学校卒業生小池俊吉氏より百万円の寄附があり、湖南小学校の教材備品、図書等の購入費。社会教育費公民館費は、片羽公民館の元共同浴場の部分を改修して、集会所を設ける補助金。社会教育費図書館費は、長野日報の郷土情報のマイクロフィルム化とPDFデータ化の費用。美術館費では、二階展示室にスポットライトの追加設置費用。博物館費は、寄附された三百万円で写真や書籍、世界の蝶の研究資料の展示パネルケース等備品購入費。駅前市民会館費は、女子トイレ四基、男子トイレ二基の洋式化費用。



新設のグループホームほほえみ

◇議案第四十号

平成二十二年年度諏訪市

一般会計補正予算

(第四号)の撤回について

九月定例会では、九月十日の本会議において市側から申し入れのあった議案第四十号平成二十二年年度諏訪市一般会計補正予算(第四号)撤回について採決し、全会一致で議案撤回を承認しました。

この議案は、JR上諏訪駅西口広場に市内の彫刻家から寄贈を受け石彫作品を設置するなどの公園整備を行い、西口に賑わいを創出する計画の補正予算を計上したものであったが、見直しや反対の陳情書・要望書が提出され、議会で議論も踏まえ、「市民の合意が得られておらず、拙速だった」と判断し、撤回に至ったものであります。

この撤回を受け、新たに市側は同事業費二千二百万円を削除した総額二億五千三百八十万円の議案第四十二号平成二十二年年度諏訪市一般会計補正予算(第四号)を提出しました。

議案審議

第3回(9月)定例会で付託された案件と、委員会審査の内容です。

代表質問

代表質問は、各グループの政策上の問題などについて質問するものです。掲載の内容は、主な質問と答弁の要旨であり、代表者の文責によるものです。

健全財政の確立・行革の推進は市民の理解と協力により行政と協働で実現！



新国会
山田 一治

問 昨年度決算評価と課題と対応について。

答 各種事業実績は順調に実行し評価は九十点。各会計は黒字で全ての指標で、早期健全化基準内であり財政は健全であるが、将来負担比率の減少に努めたい。

問 本年度予算執行状況と歳入歳出の見通しについて。

答 歳入全般の見通しは不確定部分はあるが全体的に厳しい。法人市民税の申告状況を注視、普通交付税は六・八%の増であるが他の交付税は状況待ち。臨時財政対策債は四九・七%であるが、一般財源では一億五千万円を下回る。歳出は、全般の見通しは不確定であるが、学校施設整備基金・国保財

政安定化繰出金・小中学校クラス替え経費・廃止代替バス経費等が見込まれる。課題は税収の動向・県の事業仕分けによる県支出金・国の予備費発動による経済対策の影響により左右される。

問 新規大型事業の推進状況は。

答 児童手当・こども手当は順調に対応。病児対応型病児保育推進事業は国の内示が遅れ今後着手、御柱関連・明治聖園整備事業、第八分団屯所新築は計画通り進行している。

問 財政健全化への対応は。

答 行財政改善委員会を設置、毎年一億円の削減効果や行革の取組みを要に応じ専門部会を設置。

問 財政基盤の確立に向けての対応について(提案を含めて)。

(一)旧東バル跡地取得基金について、募金活動は経済状況の悪化により実質的な活動は休止中。
(二)寄付実績も低調であり、当初予定の宅地分譲を考える時期である。分譲計画については、現在の宅地

需要から着手は無理。

(三)市民が関心を持ち寄付に繋がる事業展開が必要。将来の広場活用のため、小中学生・高校生を対象に「私が創る夢の広場」コンペの実施実現に向け、来年度の第五次総合計画策定に係る児童、生徒との懇談会テーマとして検討。

(四)工場建屋をスポーツ振興のために、市民が活用する場所提供について、建築基準法上の制限があり整備に多額の費用が掛り現況では不可能。(検討要望)

(五)公社所有地購入資金の金利対策について、現在利息では年間九千八百万円。低金利で運用に努め、各金融機関に依頼。

問 柳並駐車場の料金引下げによる利用率のアップ・業者委託を。

答 将来の西口駅整備事業用地として現状では難しい。

問 武道館の管理運営について

答 (一)耐震診断は順次対応。

(二)補修・改修工事は、築七十一年で経年劣化が進んでおり、他の体育施設も含め順位を考慮し修繕工事を実施する。

(三)武道館閉館の場合の代替施設の確保と対応は、三体育館を各団体に調整し利用を図りたい。体育施設が少なく、利用者の利便性を図り、スポーツ振興を推進するため、他の施設を有効に活用できる様な施策を要望すると共に、各スポー

ツ団体と将来の諏訪の体育施設充実に向けて懇談会等積極的に検討を期待。



諏訪市武道館

問 市営住宅の環境整備を。長期間空家の内部修繕工事は躊躇して

いるとか、周辺の草刈りは地元依頼している状況では入居する環境でない。環境整備と規則改定も含め積極的な入居対策を検討し有効活用を期待。

問 環境保全費「太陽光発電設置補助事業費」について、今後希望者が

出た場合、再度増額する予定があるか。

答 必要ならば補正対応を検討する。

問 「アートなまちづくり」事業の今後の取組みについて。

答 関係団体や市民公募により十四名で検討会議「諏訪まちづくりアートフォーラム」を設置。アートの特化したものでなく、伝統・文化を大切にしながら、市民の意見等も反映させ、多くの事務・事業に「アート」の視点・観点を取り入れ、より素晴らしいまちを創っていくことを目指して、アートのまちづくりを検討していく。

諏訪市国民健康保険の高すぎる保険税の引き下げと制度の運営と改善、将来展望について。



日本共産党
諏訪市議員 藤森 守

問 国民健康保険は、戦前は「互助制度」とされていたが、戦後の改正で「社会保障」と明記され、国民皆保険の重要な部分を占めているが、高すぎる保険税など問題を抱えている。市長は社会保障制度と認識しているか。

答 社会保障制度の一つと認識している。

問 リストラ、団塊世代の大量退職などによって国保への加入者が増えている。人数と調定額（納めるべきとされた金額）は。

答 加入者は増えており、国保と後期高齢者の合計は二万四百二十二人、人口に占める率は平成十五年の三五・五％から三九・九％へと増加している。調定額と収納率は低下している。

問 高すぎる国保税を納めきれない人が増えている。平成二十年に後期高齢者医療制度への支援金として、平均二〇・四四％、一人当たり一万七千四百五十二円の値上げによって市の段階で県下一高い国保税となった。その際、国保運営協議会は「三年間の計画であり、途中で改善したら下げしてほしい」とした。基金も繰越金も増えている。値下げすべきです。

答 値下げは考えていた。金額は不明だが下げます。

問 基金、繰越金だけでなく、一般会計からの法定外繰り入れをして更に下げるとき。全国市町村の七割が繰り入れしており、一人平均一万円を超えた。

答 ルールの中での健全化が基本。

問 国保会計の危機を改善する道は、五〇％から二五％まで下げられた「国庫支出金」をもとに戻す運動を全国の市町村が力を合わせてやることではないか。

答 国保の広域化に期待する。

問 広域化への道は各自自治体の今までの成果が崩され、低い水準に統一



国民健康保険窓口

される方向へ行かざるを得ず、住民の声も届かなくなる。国庫支出金も減らされるだろう。反対です。

答 見守りたい。

問 後期高齢者医療制度見直しの方向は、姨捨山の入山年齢を七十五歳から六十五歳に引き下げ、会計は別勘定とした上で、国保に戻すとされている。よけい悪い制度となる。反対です。

答 応分の国の負担をしてほしい。

問 保険証交付について、市は資格証明書を発行しておらず評価したい。六ヶ月、三ヶ月の短期保険証が発

行されているが、正規の一年の保険証を発行した上で納税率の相談に必ずべき。

答 努力したい。

問 失業等で収入が減った人への税の軽減策が始まった。どういふものか。

答 前年の所得で調定額が決まるが、リストラなどで職を失った人にはその計算を〇・三で行うので軽減となる。百六十三人が申請した。ハローワークの証明を付け申請してほしい。税の七、五、二割の軽減も行う。三千百九十世帯、四〇・三％が対象となる。これは申請不要。

問 福祉医療費の乳幼児医療費の無料化年齢を、義務教育終了の中学生まで広げてほしい。

答 県のあり方検討委員会の議論を受けて考えたい。



市政のことが聞きたい

一般質問

市政全般について議員が自由に質問できる一般質問の制度があります。九月定例会では十一人の議員が各方面にわたって質問を行いました。掲載の内容は、主な質問と答弁の要旨であり、質問者の文責によるものです。なお本会議の会議録は図書館、市役所ロビー、市議会事務局で閲覧できます。一般質問などの詳しい内容については会議録をご覧ください。

市内小中学校の不登校の現状と、学力向上への市教委の考えは。



小口 和雄

問 全国学力テストの結果分析で、県教委が学力向上対策の必要性をあげた。市教委の考えは。

答 点数のみがクローズアップされるのが現状。今年は一割抽出で、諏訪市でも中学校一校の抽出。よく頑張っているというのが率直な印象。

問 昨年度の県内小中学校不登校数は二千四百五十六人で、二年連続で前年を下回ったが依然多い。市内の状況は。

答 市内の不登校児童生徒数は、昨年度が小学校七人、中学校二十三人。今年度は七月までで小中学校ともに六人。今年度から子どもサポートチームすわと協力し、家庭支援を中心に対応している。緊急雇用事業で行って

いる子どもの居場所づくりなど、一層の取り組みを進めたい。原因は、さまざまであるが、大人社会のストレスが子どもに影響を及ぼしているという専門家の声がある。

問 駅周辺が寂しくなり、郊外型店舗がメインになった。中心市街地は駐車場や店舗の魅力不足が指摘される。また高齢者にとって近くに店がないのは死活問題でもある。現状の分析と活性化に向けた施策は。



改良されるサンロード

答 駅周辺の駐車場は民間も含め十ヶ所に六百六十五台分確保されており、充足していると考えている。レト

口と癒しのまちをコンセプトに、駅前商店街の街並み整備など、無電柱化を含め足掛け四年の修景事業が終り、魅力的な商店街ができた。サンロードの改良、TMOの活性化事業などと合わせて、にぎわいを取りもどしていきたい。

農作物の地産地消の取り組みと市町村合併。中央東線複線化について。



宮坂 勝太

問 全国的に地産地消が注目されているが、当市の取り組みは。

答 市農業祭など各イベントを通して地産地消をPRしていきたい。



第10回諏訪市農業祭

問 スーパーに地場産コーナーの設置を働きかけ、消費拡大と公設市場

の活性化利用推進を図るべき。イベントやコーナーには諏訪湖産の魚貝類も。

答 関係団体等と協力し実施したい。

問 学校給食は地産地消に取り組みたいが、もう少し旬の味を生かした献立はできないか。

答 学校給食は栄養面を最も重視して献立をたてているが、旬の味も大切に考えている。一つ一つの野菜の味がわかるよう工夫をしたい。

問 市内の各小中学校に一名ずつ栄養士が配置され、十一通りの献立がたてられているが、なぜ各校別々の献立が必要か。

答 自校給食の柱は、自校で栄養士が子どもの願いを聴きつつ、献立をたてることです。学校行事同様、献立にも多様性が生まれ、家庭的味わいを少しでも給食の場に持ち込みたいという配慮から、学校ごとの献立ができる体制をとっている。併せて栄養士はアレルギー児童生徒の個別指導等の食育活動にも取り組む必要があるために各校へ配置している。

問 中央東線の普門寺から上諏訪駅までの複線化の促進は。

答 単純な複線化事業においては、平面複線化では踏切の解消にならず、複線化をするならば、連続立体複線化を推進する必要がある。

問 進まぬ市町村合併について首長で話し合いを。

答 定住自立圏構想の研究を進める事で合意されている。

諏訪市の経済力について 改正省エネ法による対策 住宅エコポイントの活用



里見 貞幸

問 統計から見た諏訪市の経済力は

答 卸し小売の年間商品販売額を一九

約七百六十億円(二七・二五%)の減。大規模小売店進出の影響が大きい。消費者の低価格志向、店舗間の価格競争などで収益の伸び悩みの業種がありそう。製造品出荷額はこの十年で約三百億円の減。九十二年から落ち込み始め、九十八年にいったん回復したが近年は横ばいかやや上向き。エコカー補助金終了の反動、円高による輸出不振など不安要素は多い。

問 改正省エネ法による省エネ対策は。

答 規制分野は工場・事務所・輸送・住宅建築物・機械器具の四分野。

問 対象事業の把握は。

答 国で特定事業者の指定手続きを進めており、公表は十月。改正前の〇八年で市内特定事業所は五。

問 地方公共団体も対象となるのか。

答 市も特定事業者になる見込みで、エネルギー使用状況届出書を提出

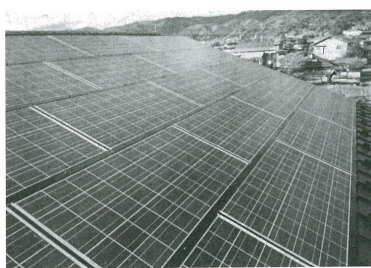
した。

問 対象となった場合の課題は何か。

答 電気使用量が増加しているのが課題である。

問 住宅エコポイント制度の活用は。

答 申請数の市内の数字は把握できないが、県内では新築二百六十七件、リフォーム二千三百五十八件。ポイント活用品は業者、企業と協力して諏訪の地場産を取り上げていきたい。



太陽光パネルを設置したエコ住宅

諏訪市が考えるべき環境とは！



横山 真

問 市花であるアヤマが見られない、アヤマ園の復活の考えは。

答 復活には、アヤマの育成管理や生育に適した用地を確保するのが困難。小規模でも復活できるか検討したい。

問 カラスによる被害、対策と駆除は。

答 毎年、鳥獣害対策協議会で諏訪市猟友会に依頼し、五月下旬に十日間くらい鉄砲による有害鳥駆除を行っている。

問 捕獲施設の設置を求めるが。

答 二十二年度には捕獲施設を市内二ヶ所、豊田・四賀に試験的に設置する計画で準備を進めている。地域で管理組織を設立して頂く。

問 8・8局地豪雨災害以降の諏訪市防災計画の見直しは。

答 迅速に動ける災害対策本部室マニュアル、地区活動マニュアル、避難勧告の判断・伝達マニュアルを作成。角間新田から清水町一帯、東山の災害も心配されるが。

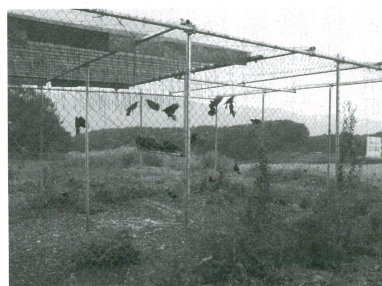
問 諏訪市全体で平成十八年三月長野県により、土砂災害警戒区域・特別警戒区域の指定がされた。角間新田から清水町についても危険場所については指定された。マルチハザードマップに掲載し市民配布やHP等で周知を行う。

問 立石・角間新田で山を切り開いての造成と産廃施設建設工事が行われているが、大雨など降れば土砂災害への不安が募る。市の対応は。

答 工事に必要な手続きは取られ、法的問題は無い。ただ規模が大きいため、法令に沿った監視指導は取りたい。工事の安全を図り地元住民に不安を与えないよう業者に指示。

問 自営工事であるが採石法に当たらないか。

答 採石法に抵触するかは即答できないが、許可権者の県や業者と相談していく。



四賀・豊田に導入予定のカラス捕獲のおり

廃棄物の減量化に向けて。人々の生活に切り離せない問題子ども・大人まで同一レベルで。



三村 睦雄

問 市の施策の要点は

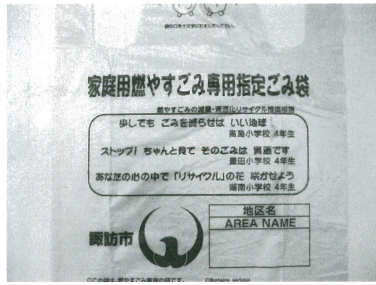
答 重要施策

- (一)雇用創出で御柱関連事業
 - (二)剪定チップ化循環事業
 - (三)ごみ減量化協力店制度強化
 - (四)食べ残しを減らそう 推進
 - (五)古紙リサイクル事業の推進
 - (六)生ごみ資源化事業の推進
 - (七)草類堆肥化リサイクル事業
 - (八)指定ごみ袋統一事業
 - (九)多量排出事業者届出制の実施
- 以上の施策を有効に進める為、小学

生を始め幅広い市民への啓発事業を充実させ、ごみ減量に取り組んでいきたい。本年四月より資源物の常設ステーションを二ヶ所に設置し回収の場の拡大を図ることができた。

問 昨年は指定統一ごみ袋の導入をしたが、課題は。

答 ごみ減量を推進する為、十一の袋の販売促進を図る。紙類の資源化指導の強化を図る。生ごみ処理機購入者へのアフターケアを行い、自家処理の拡大を図ることが課題である。



小学生の標語が入った新しい指定ごみ袋

問 H十五を基準に、H二十七までに三〇%減量目標の達成見込は。

答 H二十二年の目標は、一万六千ト強と見込んでいますが、若干下回る見込で、厳しい目標値となっているが、二十七年まで様々な施策を実施し、目標を達成したいと考えている。

問 我々自身、ごみ減量化に向けた努力は一層求められるものと思えます。特に食べ残し、飲み残し等充分注意し、留意して行く必要があると思えます。我々が出席し飲食した機会に、食べ残し、飲み残しを指摘されたことがあります。このことは特に留意し、

反省をして行かねばならないことを肝に命ずべし。

「アートなまちづくり」について
子宮頸がんについて



守屋 陽子

問 市長になって十二年「ともに生きるまちづくり」に意欲的に取り組んだ。しかし市民満足度調査では「市の事業がわからない」が、六十八事業中二十三事業で五〇%を超していた。市民の中に理解されていなかった。

答 行政の事業名がむずかしく感じている。

問 「おらほのまちづくり」「辻と小径」「工場立地」「まなびのまちづくり」等市民は知らなかったということだが、いろいろな方法で周知していく。

答 広報・メディアの利用も考えたい。

問 まちづくりは、永遠に続く課題であり、常に「市民が主役であること」、行政のプランのみでは、市民と一緒のまちづくりにはなっていない。市長が考える「アートなまちづくり」とは市民主役になっているのか。

答 ちよつとおしゃれに結びつけていきたい。

問 まちづくり事業を進めるに当たっても、常に市民の声を聞き議論する。市長の思いだけで進めないように。

子宮頸がんが、十代二十代の若い人に増えている。ウイルス（HPV）からの感染なので、予防できる唯一のがんである。十代での早期のワクチンの接種で百%感染が防げる。市の子宮頸がんの検診の実態は。

問 無料クーポン券を出し、二六・四%の検診率。

問 三回のワクチン接種で五万六千費用が必要。まずは中学生への市の助成を求め。

答 国・県・近隣の状況をみて。

問 富士見町では中学生に半額補助を決めた。当市でもぜひ。

諏訪湖に対する位置づけは。

市にとって、諏訪湖は霧ヶ峰と並ぶ大切な観光資源であり漁業もあり自然の財産です。綺麗な湖を次世代に引き継ぐ事は、我々の使命と考える。

問 湖の浚渫が中止され、大雨後に河口の浚渫だけで大丈夫か、釜口水門の下段放流は難しいが要望は続いている。

答 浚渫は、県へ要望を続けて行く、現実的に難しい。河口を掘り下げたおき、湖に入る前に取除くのが現在の方法という。

問 下段放流に関して県はシミュレーションを説明して出来ない理由を言うばかり、湖底の無酸素状態改善のため、一度試験的に行ってみる事が大切、とにかくそうしてほしい。

問 湖周三市町で建設を計画するごみ処理施設の一部事務組合設立の進捗状況は。

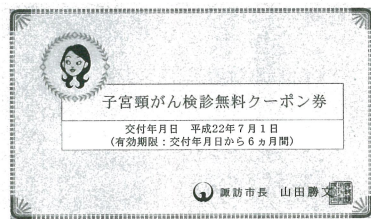
答 昨年三月に基本計画を修正したあと、同年六月に地元地区が建設受入れを白紙に戻すと表明。岡谷市が折衝を続けているが合意が得られない、十五年稼働は難しいが、目標に向かって三市町で鋭意努力するしかない。

問 百歳以上の高齢者が所在不明の二ユースが後を絶たないが、諏訪市での状況は。

答 市民基本台帳の百歳以上は二十九人で全員確認が取れており、敬老の日市長が出来るだけ逢ってお話をしている。

問 大型店撤退後の対応は。

諏訪湖の浚渫と下段放流
消えた高齢者問題について
大型店撤退後の対応について



無料クーポン券



平林 治行

問 大型店は、撤退時における早期の情報提供等自主的な取組を、積極的に行う事が強く求められている。村部にあるコンビニで対応も考えていきたい。西山の里看板について検討する。



諏訪湖上勉強会

立石公園上への産業廃棄物中間処理施設建設と花火大会について



今井 愛郎

問 立石公園上の中間処理施設の概要は？

答 中間処理施設など六棟を建設。切断・圧縮・溶融・中和等の業務を行う予定。

問 波田町でのトラブルの経過は？

答 最終的には業者の主張が認められたと聞いている。

問 経営者側と工事施工者間に施工管理に対する温度差があるのではな

いか？

答 経営者側には温度差解消と共に住民理解が得られるような施工を申し入れている。

問 操業開始後に中間処理施設が永久放置施設にならないか？

答 産廃の監督指導権限は県が有しているが、市としても積極的な情報収集・指導に努めたい。

問 自営工事における土砂等の防災対策は？

答 今迄に大和側への土砂流出もあり二回に亘り文章でお願いをしている。今後も経過を見ながら適切な指導をして参りたい。

問 工事場所等の固定資産税の課税地目は？

答 現在は山林・原野・雑種地等だが基準日迄に現状確認を行い、用途に合った適切な課税を行いたい。

問 下諏訪方面から見た稜線・景観をどう考えるか？

答 景観法上の届出はされているが、工事完了後に改めて指導を行いたい。花火大会のストリート台設置費は？

問 千八百九十万円余で八回目となる。

問 ストリート台を常設化して余剰資金を諏訪湖浄化等にまわせないか？

答 県の許可が頂けないのが現状だが、漁協とも協力して良い方向を見出したい。

問 市職員の時間外手当金額は？

答 一万七千円。

問 消防・警備等との差が大きいのでは？

答 市職員とは時間・職責が違っているので一概に比較は出来ないが、今後の検討課題としたい。



排出された土砂

1. 生物多様性について 2. 母子健康事業について 3. 全国学力・学習状況調査



有賀 ゆかり

問 生物多様性の理解は、計画的な事業推進を。

答 環境基本計画に沿って取り組んでいる。

問 農地の保全、エコファーマー増加への支援策は。

答 遊休農地解消のためのパトロール、環境農業への直接支払いなど支援をしている。市内での認定は五十九名。

問 遺伝子組換え作物汚染防止への取り組みは。

答 規制、監視等は考えていない、GMフリーゾーンについては把握していない。

問 母子手帳などの交付場所変更の効果、一連の保健事業における子育て支援の役割。

答 保健センターで直接面談する効果は大きい。あかちゃん訪問は他では得られない貴重な機会。検診、相談、講習など連続して有効。

問 課題発見と他機関との連携を。

答 市内支援ネットワークへ連携。検診等の会場ボラ活用、直接回線整備などの配慮も必要。

問 検診していく。

答 不妊治療助成が三年経過、これまでの検証をし、条件改善の検討を。年数など今のところ妥当と考えている。

問 子宮頸ガンワクチン接種に対する市としての助成を。

答 国にお願いする。

問 諏訪湖健康学園の移転後、児童相談所の充実を県に要望したが。

答 スタッフ充実、別の県有地を検討中。

問 児童虐待事例に対する家庭支援は。

答 地域協議会でのネットワーク、個別ケース検討会議などで対応している。

問 全国学力・学習状況調査における市内十一校の参加状況は。

答 中学校一校が抽出対象、三校は不参加。小学校は全校希望参加。中学校は日程、その後の指導への効果を考え不参加とした。

問 夏休みの期間、時期も再検討すべき。



乳児相談の様子

観光振興の展望と課題。旧東バル跡地問題の現状と展望。社会問題の対応と福祉行政の課題。



水野 政利

問 市内観光トライアングル構想の進捗状況と展望は。

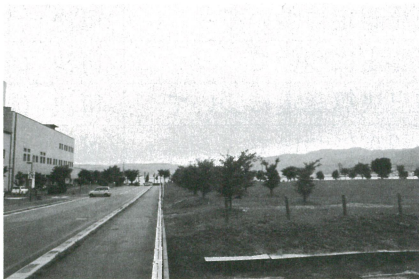
答 駅周辺を整備し、間欠泉センター、旧東バル跡地および高島城のトライアングルで結び回遊性を持たせていく。駅から諏訪湖へのLED誘導灯に期待する。

問 観光客および宿泊客の増加の為に施策と課題は。

答 諏訪市の観光客は、年間六百五十七万人の内、市内宿泊客はわずかに八・八%の五十七万七千人。その為に観光資源のネットワーク化、体験型観光地としての温泉泊覧会ズーラ等で、滞在型観光に取り組んでいる。インバウンドは、中国、台湾をターゲットに、ビザの支給要件緩和等で個人旅行者を取り込みたい。

問 旧東バル跡地取得寄付の今後はどうなるのか。跡地利用でリハビリセンター誘致のその後は。期限付きでの仮設的な駐車場として開放しては。

答 各種寄付については精査が必要。一般財源での買い取りも含め、考えなくてはいけない時期だと思う。リハビリセンターは医師会、諏訪赤十字病院等と協議しているが、具体的な話までには至っていない。広大な跡地の駐車場解放は管理面から慎重に考えている。



東バル跡地

問 市長は以前、「観光振興の為に「レンタサイクル事業」に消極的であったが、現在は。

答 今は大きく変化し、事業実施に向けて、近隣等の事例を参考に環境整備等が必要。二十一年十月一日から十二月三十一日の期間「諏訪チャリレンタサイクル」の実証実験を実施した。

問 特殊寝台車利用の補助金制度設置を。

答 他市等の実態を研究し、現行のタクシー利用制度と合わせて検討する。

局地豪雨災害等の対策について・国道二十号バイパスの早期建設着手について



神澤 孝昌

問 局地豪雨、台風雨等災害に対しポイント事業の考えは。

答 局地豪雨災害等については、ハードソフト面から備え、釜口水門の操作規則を変えてもらい早めに諏訪湖の水位を下げたい。西山の砂防堰堤、東山方面の砂防堰堤を進め今後百mm以上の雨に備えたい。危うい所は急傾斜地の指定をしていただき大きな力で進めたい。市職員の行動が迅速に出来るように進め、また地区自主防災組織の活動を充実するため水害時のマニュアルの作成を推進している。

問 市長と語る夕べで国道二十号バイパスについては重要な問題であり、今後については。

後については。

答 今後は説明をして行きたい。

問 国道二十号バイパスの早期建設への動きが見えない。諏訪ルートだけ取り残されないように願うが。

答 都計決定ルートは、昭和四十七年に定めた、また平成六年に諏訪予定ルートが発表された。バイパスを進めていく上では、この二つを一本化していかなければならない。下諏訪側から手を付けて行くと言うが、予算がいくら付いたかも皆目わからなかった。諏訪バイパスは予想ルートに沿って進めて行く。ただ過去の混乱から国道事務所根強い慎重さがあるが、住民合意の上でルート決定となれば良い。

問 死亡事故のあった四賀飯島の交差点へ歩道橋設置要望を上げた経過があるが、車が增大する中、歩道橋設置の考えは。

答 国が道路管理者で、諏訪湖四賀線、神宮寺諏訪線は県が管理者。設置は国または県となる。歩行者と車用の信号機を完全に分離型歩道として検討。ただ渋滞が心配される。



国道20号バイパス

9月定例会の提出案件の審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第37号	諏訪市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	可決 (全会一致)
議案第38号	長野県地方税滞納整理機構の設置について	可決 (賛成多数)
議案第39号	諏訪南行政事務組合理約の一部変更について	可決 (全会一致)
議案第41号	平成22年度諏訪市下水道事業会計補正予算 (第1号)	可決 (全会一致)
議案第42号	平成22年度諏訪市一般会計補正予算 (第4号)	可決 (全会一致)
認定第1号	平成21年度諏訪市一般会計歳入歳出決算認定について	可決 (賛成多数)
認定第2号	平成21年度諏訪市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	可決 (賛成多数)
認定第3号	平成21年度諏訪市霧ヶ峰リフト事業特別会計歳入歳出決算認定について	可決 (全会一致)
認定第4号	平成21年度諏訪市奨学資金特別会計歳入歳出決算認定について	可決 (全会一致)
認定第5号	平成21年度諏訪市公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算認定について	可決 (全会一致)
認定第6号	平成21年度諏訪市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	可決 (全会一致)
認定第7号	平成21年度諏訪市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	可決 (全会一致)
認定第8号	平成21年度諏訪市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	可決 (全会一致)
認定第9号	平成21年度諏訪市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	可決 (賛成多数)
認定第10号	平成21年度諏訪市水道温泉事業会計歳入歳出決算認定について	可決 (全会一致)

9月議会で審議された請願・陳情の結果

請願・陳情番号	請願・陳情内容	提出者	採決結果
陳情第55号	「上諏訪駅西口に公園」を整備する提案に関する陳情書	小林 幸子	採択 (全会一致)

市議会解説コーナー

◆決算審査とは◆

市長から提出される一会計年度の歳入歳出決算書及び附属書類が法令等に準拠して調製され、議会が収入・収支が適法かつ正当に行われたかどうかを毎会計年度審査するもの。議決事件の一つである。

決算審査の流れ

- ・ 会計管理者 出納閉鎖 (五月三十一日)
- ・ 決算書調製 (三ヶ月以内)
- ・ 付属書類作成
 - ・ 歳入歳出決算事項別明細書
 - ・ 実質収支に関する調書
 - ・ 財産に関する調書
 - ・ 証書類
- ・ 市長に提出
- ・ 市長が監査に付す
- ・ 監査委員の監査・意見を付ける
- ・ 市長が議会に付す

上程
質疑
決算審査特別委員会設置
付託
審査
決定
本会議に報告
委員長報告に対する質疑
討論
採決 (認定)
市長に送付

市長
要領を住民に公表

議会の傍聴にお出かけください

十二月定例会は十一月二十九日(月)招集予定です。詳しい日程については議会事務局へお問い合わせを。(TEL 〇二六六・五三〇二六六) LCV13チャンネルで、代表質問・一般質問の音声と静止画像による市議会生中継を行っていますのでご覧ください。

また、専用の車いすに座ったまま階段の移動が可能な階段昇降機を導入し、傍聴席も車いすのまま傍聴することが可能なスペースを設けました。ご利用のお申込みやご不明な点がございましたら、諏訪市議会事務局か総務課(五二・四一四一)までお電話ください。

陳情等は、招集日の一週間前までに提出を!

編集後記

この夏三十年に一回と言われた異常気象・猛暑でした。熱中症での死亡など考えもしませんでした。おそろしさが身にしみました。ちなみに諏訪市では、熱中症搬送者は九名、うち重症者一名、死亡者ゼロでした。

さて九月議会では、今任期最後の二十一年度決算が審議されました。収入八億三千万円余の減収、その内法人市民税が前年に比べ四五・二%と大幅な減収になりました。

深刻化する経済情勢が続きます。さらに輪をかけての円高にも戸惑いを感じます。

市政運営は、市民の皆さんが安心して暮らせるよう進めていきます。ご意見・ご要望をお寄せ下さい。

議会だより編集委員会

- 委員長 平林 治行
- 副委員長 有賀 ゆかり
- 委員 横山 徳真
- 委員 高林 枝真
- 委員 三村 睦雄
- 委員 守屋 陽子

すわ市議会だよりは古紙配合紙を使用しています。